大學の使

育事ハ忽ニスへカラス 軍國多事ノ際ト雖モ教

義深い威密の式を閉ぢた、侑引つゞき教職員は教官食堂に入つて午餐を共にしたてよく勉學に騙まれたい々ご簡單ではあつたが含蓄ありかつ謙譲な抜拶をなし正午意 非常時局に對慮すべき學能の態度について真摯にして傅理第11長つた力別係所級の和く學の内にては肅榮の方向を指示し、また外になては國家の所にては曹俊の方向を指示し、また外になては國家の計算を一身に築めて登職 は衷心より惭愧に堪へない諸君は學殖才幹ともに優れた名總長を迎へ は。私の不癒不明により本學の歴史に、拭ふべからざる汚點を印したこと張い言葉を奥へ、われるが如き拍手に送られて降壞、續いて松井前總長 の開會の群について、最年長教授大井清一博士が大學を代表して挨拶す金譽生ら出席中村書記官司會の下に先づ最年長學部長たる平野工學部長金譽生ら出席中村書記官司會の下に先づ最年長學部長たる平野工學部長金譽生は、この日 朝からすつきり潰れ上つて清澄の秋の気堂 にみち、いて舉行、この日 朝からすつきり潰れ上つて清澄の秋の気堂 にみちい

繊維工業に輝しい成果

輝く苦節の榮冠 相携へて理學博士に ーの完成の際ビスコースを4

織田萬博士の たのであるが、今回・1年のよう。 なのであるが、今回・1年のよう。 なのであるが、今回・1年のよう。 なのであるが、今回・1年のまた。 なのであるが、今回・1年のまた。 なのであるが、今回・1年のまた。 なのであるが、今回・1年のまた。 なのであるが、今回・1年のまた。 のであるが、今回・1年のまた。 のであるが、日本のまた。 のであるが、1年のまた。 のであるが、1 勝哉を何らんとする二つの重要な」々相ついで空の通り整合せられ、 衆の完成に重要なる基礎的車に質 たステーブルファイバ

こゝに本部の雌正はほど一院落を

文化諸事業に響く戰時體制

上帝像の祭社が南氏に授集され

日午後一時より開かれた理

- 塩々蝿の研究に深頭してゐたので

太朝陸原生音川秀男な。氏で何れ

未契約工事は着工見合はせ 本學豫算削减の危険に瀕す

宙に浮いた圖書館

品の復舊

文化を思ひ生活に眺心を有する人をして注続せしめつ、あるが、美犬な事態数に反比例して歌祭の切

(寫真は教官食堂での午餐)

學園の明朗化へ! 自戒自粛し今後も

標形を取り結び前も電所的には単部電楽主の他事場時時齢素を軽く酵母の最内燃素、助情販売。文化師画整案の物体に時状態を含置し進動能がいら動味像部へと目まぐるしい意子と求り起て進みつゝある都非常時日本は、事養の 書大化・共にこれに試職する無鑑一致の

許の肌酸だしずと振じての邪悪となっており、本塚におしてもなが影響は直覆に響き、本物感に事要戦を見ても着し吹び歌迎弄みのも、忽然避せんとするに残らひとしく文化を戦力生活に戦心を与する人をして注意せしめつ、あるか、是心な事態をに気が壊して散発の司 **熊遠常事者も所類の豫点通りその察班に吉譲しつくあるが、事態の進行によつては何時着し 測定してたは未完終のものには、職事医癒売・農養療法機能売・敷品味・職者患者もり、いづれも本事としては可茂酸に治療性治療を抱いるいはともかく際に謝罪の実活を見てゐるもの、叫でも未完終いものは必能がた推薦を怠慢がくされるものと見られてゐる、而して謝罪** れてみたのであるが、出らすも今回の整整形象。一型の未完新非常中生型は一番見合はせにより、またすた「極度を楽した」なの地域上裏面の総定重要を述ておすくともも時刻から見られています。 郷難に製墨され下の

今春前く管現の機器し、既報の知く大

見學旅行 滿洲國留學生

全廢若しくは减員 在外研究員は當分

樂學科は豫定通り 明年十月までに完成

てゐるが大概が記録は、の大学の際世と臣耽孝弥に即いて「耽凝には党倉職僚がないので、撃得等を添してこれが「を給戦官の水理を収耗の書談はて一陸り総つて令天の均職常部の職務」

第一名ことにしました、最人的批判ない。 一般要生の整を紙前に反映させる のは、今回新なたはみとして大戦 より恒久的に一般要が振りを設ける。

原稿を募る

郷洲國留際生の夏暖旅行は恒例 北海道に内定

史

ヴェト大百科版(羅)四首議 定價で同八拾錢

開く 古典の寶庫 イタリア會の講演

帝國

學新

都

配動卵能形)にて本郷文・歌部芸術 説田正利田の「メンテの文献部観 説田正利田の「メンテの文献部観 がレー学後一等はする書館 によって、また、一学後一等はする書館 によって、また、一学後一等は

學園自肅と時局に

濱田總長力强く宣言

■単一ととは関連のこの語とし、国産地と様とでしていてなり、参く、「単純な大きにデーロギャンのような様々とのでは、「中央を単純市 ているなど、金剛をは、「中央を単純市 ならいと発展には大きに対して、日本のと、日本のとのでは、「中央では、「中のでは、「中央では、「中のでは、

ご登機課効務を命

数、化、工學用等 凡 て 完 備 電話 仮生 1638 単話 上 1004

が法に就て述べんとする由Nの特別確子製品の用途及び終

大西俊夫著 新四六州布殿

定價 查圖或拾錢

各巻 6 差面 第二名 (音彦主義、古典學院・曹農主義、スミス、リカアド) 第一名 (音彦崇輝県の第生、經療的薬療主義、栄養的証券主

りカアト張う(俗演演演奏の發生、經濟的浪漫主義、容雅的社會主義

高橋事務官着任 飛行機の硬運に就て 本要

經濟全書林定一套定、水產

悪生の疾病の治療のみたら

一、最近に於ける二三の変明で 下るこに於て左の框へ開催す とり脱線製作所構造 (河原町二綱

駅部教養工學博士業井部太郎品について(四十分)建帯本門

発展の大戦中での設彰

診療部門を擴張 健康相談所精神科增設

鈴木虎雄博士 先づ詩集刊行

完成出版として理事本の手機の数 を提出してある、此の機関博士の方法 してある、此の機関博士の方法

來る人去る人 本部肅正進捗す

喜多上教授等の研究

化學談話會例會

· (新史的機觀、現況、

報告の夕

日本工業養源論 安田庄司者 響等 コンスタンチン・ボボフ著(加盟)、原用機定價壹國五拾錢

から七日間に登つて北米湖州 た四十八名の駅生は

齊請話 世界經濟と日本經濟為"養職定體亞前五拾幾(議 日本の經濟的發展と聽言意識定置 受到(諸

る害である(息質はダンテ文献の 一節)

▼總社名▼所在地▼祭神▼由緒 ▼神龍管屋▼祭禮(祭の名と其 日時、祭地、祭場、物思、精織 神供と食物、神體、神徳卿、風 流と演传)特別神事▼推

**旬申職以外の一般研究を、郷土市** 

京都、滋養より次第に他に撤襲し

店書

ローゼンベルグ著(藤龍芸書)時間のCT関を関奏を関 白揚 社

新刊書

新版班品

中京市師田區美工代野門

支

史史 史

價 壹國八拾錢

**儿拾錢** 立國五輪線

評 濟

中心問題

が動とかいますら、酸壁がある症く、 が動とかいますら、酸壁がある症く、 が動とかいますら、酸壁を使の向よ。 が、 ・とかいような問題がある短く ・で、 を検索がたる短短の書がと係題の ので、 を持たを必要とすることは何べる ・で、 をはないであらう。しかして今日

で東に改善がこの非常時的事

かって的事を維持する対象
に、ルルを活が動きます。
に、ルルを活が動きます。
これである様々がなる。
して、の場合に基本の方は大人のである。
第二には
関の業権を指定がある。
第二には
関ので、これで重要の対象
に、は、のして、これで重要の対象
に、これで重要の対象
に、これで重要の表
に、これで
に、これで更要の表
に、これで更要の表
に、これで更要の表
に、これで更に、これ

。これには次の如き方法 関加を握る。(臨時資金 製でにして重需部門の生 関西にして重需部門の生

軍部一業の既任刑職場が触々多量とを着機に必要とする。からして

して、戦争の 吸ぶをつきないが使動をでは第2 つて「販売をご成立になった。 して、戦争の 吸ぶをつきのがが使動をでは第2 つて「販売をご成立になった。 がによっていました。 まま ない。 が必要になる場である。その巨額 が必要にはなる場である。その巨額 が必要にはなる場である。その巨額 のできながである。その巨額 2 つて一晩公園に除瀬を求めこれをし、彼々に大衆観視で見て補はねばな た現代戦の特性がらして戦時に終 た現代戦の特性がらして戦時に終 に現代戦の特性があらして戦時に終

して政策の内容を成し、

政

3 豐

相 しての公園はそれが選ばされれば インフレイションを着起して大製 を財政とする戦勢誘導と、近 の戦争が巨大であるだけ散戦 の戦争が巨大であるだけな数 藤田化粧品店

## 魚澄惣五耶著

公職を協議とする 公職を協議とする 戦力で が高さいまする でで、 の生活動を着記する

大槻正男教授著 農業經濟の基本問題

大

谷 を讀 政 to

第二閱覽室備附の 指學生用

全数記載生料記述論書は数型4代。平光 音一 銀鐵塔速奏(図)のブル維形されつ、あつたが、建図、「四十)、「東部の分は活動も多いので多略し、合同、音音・経験電鏡画」上(2)との映像部の分は活動も多いので多略し、合同、音音・経験電鏡画」上(2) 醫學部 第一 精神病學提覧 (昭

京都 選戦 及川 関共著 小御 を木喰之助 外科類が無別を断撃 (昭一〇) 茂木喰之助 茂木外科線論 (昭一

好為 顧用解剖專〈唱一一〉 好為 顧用解剖專〈唱一一〉

文學士 潁

ìI.

務者日本服飾史要

途價 • 八四

北畠

南朝の

研究

原退較著俳諧史論考

東教養澤村専太郎著東洋美術史の研究

逸僧七•二人

史

料

**透信** 

及川儀右衛門著概說西洋史

大田(東大田) 1 大田 (東大田) 1 大田 (東大田) 1 大田 (東大田) 1 大田 (東西) 1 大 A La Maria Communication of the Communication of th

森 公東赤崎 質問用の物解列手 第17 二種(昭10) 森 茂 田 章信 運動生物美(昭10) 長島 単太 栗物美(昭110) 長島 単太 栗物美(昭110) 田 連種(日100)

生

振替口座大阪四九四九一番京都市上京區丸太町堰川西

星

野

店

MI

が職、共同既は一定の配側に対
が職、共同職は一定の配側に対
を大き、自由が大けが、各人は
・ 大田間が構成し、しての体をを
様・智だい。各人は自立が大けが、各人は
・ 大田間の構成し、しての体をを
様・智だい。各人は
でな、大田間が構成である
といってとなが、物態に一定範囲

次 郎

私法學上於 實證主義の凋落

⋄⋄⋄法

學

時

評◇◇◇

最は微量的に担保し得るもの、の 現代の質証も適は新る共同参加 の現代の質証も適は新る共同参加

| 出事を貸し | 一般を廃止し、他が多額に対象を負担する。
| 出事を貸し | 正と無きを得らかである。

・ 立作時次、國際報告に記して知っている。 ・ 立作時次、國際報告に記して知る。 ・ 立作のでは、大きないのでは、ままないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、ままないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、ままないのでは、大きないのでは、ままないのでは、まないのでは、まないのでは、まないのでは、まないのでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、ま

古資本の養養利而が相談的に一我々の問題に近代職家の軍物党出

圖書補充さる 本書に関係などのであって、古代社会が成成のので、古代社会が成成のので、古代社会が成成のので、古代社会が成成のので、古代社会が成成のので、古代社会が成成のので、古代社会が成成のので、古代社会が成成のので、古代社会が成立ので、古代社会が成立していません。

風俗研究所長 魚燈物五郎著 魚燈物五郎著 江 古社 B 馬 本史 寺 新 0 者 講 ·研 前 假: 五 究 透玉。 加工十二

修 有

澤為人多者萬葉集新釋片號

退載者

俳諧史の研究

火冬の洋服 <sup>洋服地</sup> 值上。前。大特賣 ツパメヤ 東一條東山線停留極西 原第3)上2057 原第468703第



助 激 授 中 村 直

(へ)労働の生態性を態度に高める。ががそれは労働者としての機関を職性にするの物種を職種を確しての機関を事務にするの機能を発展しての機能を発展しての機能を関係を表現しての機能を定としなる。

東を書いて見たいさ、多年心順しつゝ今日に至つた。 うした要求を耳にする事を卒。從つて私もさうした臓 ので前明不易に到る様に書いた史書はないか。――さ ので前明不易に到る様に書いた史書はないか。――さ

江湖必讀の國史讀本出づ!

俗に隨しない内容。それを狙つて書いたのが本書であ像備知識がなくとも讀んで判る本。そうしたもので通のにすつと通識し得る日本歴史の本。國史に何等の一晩にすつと通識し得る日本歴史の本。國史に何等の

▽菊判三○○頁・洋裝廚人・定價金二圓・送料十四銭△

道.

勝著

勝著 [新刊] 獨逸國有鐵道中央觀光局日本支品 

愛獨选 ^

314

## 全面的に反映して 學友會改善の機熟す 目主化を目覺して驀進!

これが戦争だ!

第一線の兵士を想へ

信通地現の生學本

りついて息づく陣營生活 グニヤくの握飯にかぶ

秋さわやかに 戰のどきいたる 籠球部を先發に 大擧して東上

心上野 若湖 兩津一

職員診療機關の實現へ 學生健康保險への第一歩として

機械

年 井 道 三 著

キネマ學生の卷

関西六大學野球

風

俗

散

(1)

制制の構芸「ゆっか」の景、ドロテア・ウィーク主演演員後、「大学の著作」アドルブ・ウオールアリユック主演 フーグの大學生

クリステルドイツ製作人

秋は汽車に乗つて

業組合研究會

賣 京都市左京區岡崎西福ノ川町一〇

京都微生物研究所 振替大阪四〇八二二番

河原町今出二角

店 質



工學博士 拔山 平一著 图大倍制五二八頁

御用命は信用ある國井

朗

油及其工業小林久平著 い。前版を根底から改め、最新の現地事情が窺はれる

酸性

一流ごころは締切

學友會園遊會

を、この核に大型電影ないの目が表現している。 を、この核に大型電影ないです。 を、この核に大型電影ないです。 を、この様に大乗にするため、一般は九月二十日 を、この様に大乗にするため、一般は九月二十日 を、この様に大型できる。 四日 の本紙で、故郷に歌るの我際の運動で正彦御肌の下とし の本紙で、故郷に歌・墺大部瀬氏仏した、東子は常作戦

般の教授者で激撃の総形形氏の

まになつてゐる人感がすく煎器に 歌を見た

選出機能の規則にも、機能の計断となる。 間外は単化性におり情報の かまり、「機能がよったの間を 1 競り上 地に動き合せる。 「競技のおおいます。 では、一般を持ちなが、機能がは、 一般を対して、 一般を対して、 一般を対して、 一般を対して、 一般をしまった。 一般をしまった。 一般をしまった。 一般としまり、 一般としま 私歌の連携だと思る

トの二節其他及螺絲規格一覧表を添くてゐる。ついて記述して居るが、この增訂版は熔接を下ついて記述して居るが、この增訂版は熔接を下用について詳述したもの。主として動力傳達要機械設計に關する基礎的方面を解説し、その質

阿羅松縣一教授 坪 井 道 二 共著

收録に努めてゐる。前版を周到に修正せる再版

電磁気学 數學画數を要する計算を避け、專り實際的な事實のるもの。この第一卷は理論大系の説述に當り特殊の

すよりも、施工の大綱に基いて敍述されてゐる。の一般概念を與ぶることにつとめ、複雑な理論を示

古本御拂下のシーズン!!

秦利四九四頁

透明四円五十銭

山崎經濟研究所

日滿支課題の根本的研究誌

この人格を感覺せよ 天野博士「道理の感覚」を讀るて 秀 佳 を讀 村 を 日、日本は極めて重大 (三木清 如何 四史通論 時野谷

現代戦性にとつての海に観視な難に生くべきからの間難は寂寞の間が

の序にある如く

刊行により判論さへ容易ならぬ和算の文献 横の最大結晶たる和算研究集録の は当時士の全生涯に於ける刻苦研

牟

窟 膠

彼自身一が経来

大小の影響

維勝とは思はない

批判的

支那に於ける佛教の感像と歩綱を 忘れられ農となるに執つた。 埋れた条例の

刊

の参加を数型してゐる

技術京都

眞器

店

古本高價買入

争ごと

1 7

4

古典ギリシヤもそれを知ら

呼吸器病科 京都保養院

一政治的

た政治

しれは線局、既治に数する不賞と

質するに関がであり、戦と一般性に云ふならば、

ソヴェトの現状を、文化の危機な

の感物らしい

崗

0 石

**外博士遺著刊行會** 北帝國大學理學部數學教室

おでんとお食 氣樂で明るい店 而も山海の珍味揃ひ

寫真は松浦 寫真は松浦寫真は松浦

出來す!內容見本無代進呈 初版賣切のところ、再刷製本

定價 各册意 È

删各

拾圓

WAS

(COLLECTE)

菊判·布製· 函

餘

Ħ

下全二册

町道水向日小區川石小市京東

館成開京東

目 生研究所

圖案科を見學 TEA ROOM 草 茶 母・娘水人らすの經營

高等工藝の

古 .

新人の要店 寫真の御用は 第一を佐伯 純 喫 茶 源氏茶房 洋樂レコードの賣賣なら 是非專門の當店へ! 现像技術全形 7 レモナ

ツゥ ラ寫眞塲 進文堂 店書堂文進 11

爽凉のシーズン! 覺の秋 マービーシー食料品店 興新記門前 新上21338

スト 贈 呈 高級版特に高價買入 新刊·雜誌。御用工器歌富貴堂書 田寫

インナ喫苓室 ŧ 小型活動 在庫豊富

316